防衛省東北防衛局広報紙

東北のかなめ

vol.55(2022.1)

鹽竈（しおがま）神社（宮城県塩竈（しおがま）市）

干支である寅の親子のほか、縁起物である「盛り塩」や境内にある国の天然記念物「鹽竈桜」が描かれています。

【CONTENTS】

- かかし作り交流プロジェクト２０２１ ｉｎつがる
- トピック
  - 市道笠神八幡線　開通式典（多賀城市）
  - 日本外交協会宮城県支部で講演
  - 防衛白書説明
  - 駐留軍等労働者永年勤続者表彰
  - 東北防衛局長感謝状
  - 石巻高校の生徒から先輩（故菅原人事教育局長）に向けた想い
- ようこそわが街へ（第２５回）～宮城県多賀城市～
- 防衛関連企業シリーズ⑧：三進金属工業株式会社

かかし作り交流プロジェクト2021inつがる（日米交流事業）

令和3年7月8、9日、青森県つがる市において、車力小学校の児童及び米陸軍車力通信所の米軍人等による日米交流事業「かかし作り交流プロジェクト2021inつがる」を行いました。

この交流は、今年で4回目となりますが、今年はコロナ禍ということもあり感染症対策を徹底し、2ヶ所の会場に児童と米軍人等が分かれ、リモート中継で日米約40名がかかし作りに取り組みました。

参加者たちは、「仲良く協力して作れたので、とても楽しかった」（児童）や「子供ならではのユニークな発想があり、学ぶことが出来た」（米軍人等）と笑顔で話していました。

リモートで、米軍人等と交流している児童

協力して作成したかかしは、つがる市内2ヶ所に展示され、地域の方々による投票の結果を受けて、10月13日、制作時と同様、リモートで表彰式を行いました。

金賞に輝いた作品名「ユーシン」を制作したチーム「車力ボーイズ」の児童からは、「米軍の人達と直接会うことはできなかったが、協力して作ったかかしが、金賞になってうれしい」と喜びの声があがっていました。

講師からかかしの作り方を教わる米軍人等

かかしの飾りつけ

リモートで表彰式を開催

金賞：車力ボーイズと「ユーシン」

市道笠神八幡（かさがみやわた）線　開通式典（宮城県多賀城市）

１０月２６日、宮城県多賀城市において、陸上自衛隊多賀城駐屯地に一部隣接する市道笠神八幡線約１．５kmの開通式典が開催され、市川道夫東北防衛局長が出席しました。この道路は多賀城市が、東日本大震災を教訓に災害発生時の避難経路確保や救援活動等、復興後の経済活動を支える道路として、整備したものです。

道路整備に際し、同市から道路用地として駐屯地敷地の一部割譲要望があり、同市道の重要性を考慮し、関係機関との調整を進め、道路敷地として必要な約１．２haの土地割譲の事務手続きを行いました。

テープカット
後列右から2番目：局長

笠神八幡線
右側が多賀城駐屯地

日本外交協会宮城県支部定例会で「令和3年版防衛白書について」講演

市川道夫東北防衛局長は10月28日、一般社団法人日本外交協会宮城県支部が主催する10月定例会において、「令和3年版防衛白書について」をテーマに約1時間にわたって講演を行いました。

同協会は、平和な世界と新しい日本の国づくりを目指し、外交や安全保障、危機管理などに関する理論とその応用　・実践について多角的な研究を深めつつ、大学、自治体及び企業等へ送り込む人材を育成することを目的に1947年に発足し、宮城県支部にあっては、2018年6月に宮城県に住む人を活動対象として設立されました。

講演は、冒頭、令和3年版防衛白書の表紙について紹介し、続いて今般の白書の概観やより一層厳しさを増すわが国を取り巻く安全保障環境について、中国、ロシア、北朝鮮の軍事動向、バイデン政権下における安全保障政策などの国際情勢を中心に説明し、聴講に訪れた約20名の協会会員は、熱心に耳を傾け、時にうなずくなどして聞き入りました。

会場の様子　　講演する局長

講演終了後、聴講者からは、「中国は国際社会において何を目指していると思うか」等の質問がなされ、市川局長は、オーストラリア防衛留学での交流談を交えつつひとつひとつ丁寧に回答しました。

東北防衛局では、今後も地元や企業等のニーズに応えながら防衛政策や自衛隊の活動、防衛問題に関して、広く国民の理解と協力が得られるよう同局職員や隊員の講師としての派遣を行っていきたいと考えています。

各県知事等への令和3年版防衛白書説明

令和3年版防衛白書について、11月9日、佐野好昭宮城県副知事、17日、三村申吾青森県知事、24日、菊池哲岩手県副知事に対し、地方協力本部長等と共に、より一層厳しさを増すわが国を取り巻く安全保障環境、バイデン政権下における安全保障政策、新型コロナウィルス感染症を含む大規模災害への自衛隊の対応など、説明を行いました。

各知事等からは、総合防災訓練等を通じた自衛隊との日頃の連携や自然災害をはじめとする災害発生時における自衛隊の活動への謝意が述べられたほか、わが国周辺海空域における中国軍の活動や緊迫する台湾情勢がもたらす経済への影響などに対し、高い関心が示されました。

例年、防衛白書説明は、東北防衛局、各地方協力本部、各地域事務所で実施しており、11月末までに管内に所在する261の地方公共団体等に対して説明を実施しました。

青森県知事

岩手県副知事

宮城県副知事

令和3年度駐留軍等労働者永年勤続者表彰

防衛省では、長年にわたり在日米軍施設に勤務した駐留軍等労働者の功績をたたえるために永年勤続者の表彰を行っています。

令和3年度、東北防衛局管内では、三沢飛行場に勤務する勤続40年、30年、20年及び10年を迎えた合計116名を永年勤続者として表彰しました。

例年であれば、表彰式を開催し表彰状及び記念品を授与していますが、今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、表彰式は中止し個別に贈呈しました。

令和3年度東北防衛局長感謝状贈呈

11月17、18日、青森県に所在する泊、白糠、脇野沢村の各漁業協同組合長に対し、令和3年度東北防衛局長感謝状を贈呈しました。

東北防衛局長感謝状は、当局の所掌事務の遂行について、協力及び援助しその功績が著しいと認められる方に対し贈呈しています。

日頃の防衛施設の安定的運用へのご理解、ご協力に深く感謝いたします。

松下　誠四郎
泊漁業協同組合長

西山　里一
白糠漁業協同組合長

立石　政男
脇野沢村漁業協同組合長

在日米軍従業員募集

求人情報

求人情報提供
メールサービス

【Twitter 開設】
令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。
アカウント名「在日米軍従業員求人情報（エルモ）」

【 青森県の求人に関するお問合せ先 】
エルモ 三沢支部 管理課 管理係
住　　所：青森県三沢市平畑1－1－25
電　　話：0176－53－4165
担当施設：三沢飛行場、八戸貯油施設、車力通信所

多賀城市は2024（令和6）年、多賀城創建1300年を迎えます！

国の重要文化財「多賀城碑」　ライトアップ

多賀城市が誕生したのは、1971（昭和46）年11月1日。2021（令和3）年に市制施行50周年を迎えた本市は、過去から現在までの先人の歩みをたどり、未来への軌跡を感じられるような市民参加型の多彩なプログラムなどを実施し、多くの皆さんとともに盛り上げてきました。

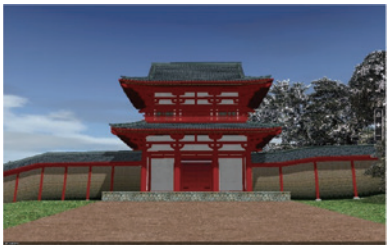
そして、2024（令和6）年、悠久の時を経て、東北古代史の中心舞台となった「多賀城」が、724（神亀元）年の創建から1300年目の記念すべき年を迎えます。これを機に、東北の歴史を改めてたどり、新たな文化の創造を目指して、多くの人々が集い、交流し、絆を深め、ともに豊かな未来をつくり出す原動力が生まれるよう、多種多様な文化プログラムを記念事業として展開していきます。

【特別史跡多賀城跡復元整備事業】

多賀城創建1300年に向けて、多賀城南門の復元に着手し、記録映像の制作も進めているところです。

2021（令和3）年6月および7月には、復元途中の今だからこそ「分かる」「見える」、多賀城南門復元建設現場見学会を開催し、多くの人に足を運んでいただきました。

今後、多賀城南門近くには、特別史跡多賀城跡のガイダンス施設を整備し、多賀城跡の歴史や南門復元に関する展示などを行っていく予定です。



多賀城南門復元イメージ

市プロフィール

【市名】　多賀城市（東北の拠点として724（神亀元）年に創建された「多賀城」に由来）
【位置】　北緯38度、東経141度
【面積】　19.69㎢（県内3番目の小ささ）
【人口】　62,154人（R3.3.31現在）
【市木】　サザンカ
【市花】　あやめ

多賀城市の情報は公式SNSで発信！

公式LINE

公式SNS（LINE・Twitter・Facebook・Instagram）を活用し、緊急時の防災情報をはじめ、まちの魅力を市内外へ発信しています。

LINEスタンプ販売中

防衛関連企業シリーズ⑧:三進金属工業株式会社　福島工場

～　地域と共に　～

三進金属工業株式会社(本社:大阪府忠岡町)は、福島県平田村に福島工場があり、昭和39年に創業し、鋼製ラック(物品・書架)等の製造・販売を行っています。同工場は、アジア最大級のラック生産力を有しています。

今回は、「地域と共に歩み、共に栄える」地域の未来に貢献する企業を目指して活躍されている新井正準会長、安藤良二工場長、岩田慎治課長代理にお話を伺いました。

Q1:　広大な敷地内に工場が3つありますが、どのようなことをされているのでしょうか。

A1:　1ヶ月に4万枚以上の棚板の生産が可能で、製造から出荷まで一貫した生産管理体制を取っています。また、開発から自社で行っており、最近は、ラックのIT化に力を入れています。

Q2:　「地域と共に歩み、共に栄える」を目指して様々な活動をされているとお聞きしましたが、具体的に教えてください。

A2:　太陽光発電によるCO2削減、敷地内の緑化推進や「いきもの」との共生を進めています。

また、福島の将来を担う人材育成のために子供たちの工場見学の受け入れ、福島の農業応援として社員食堂で福島産の米や農産物を使用するなど地産地消の推進にも取り組んでいます。

Q3:　敷地内には工場以外に「緑正館」という建物がありましたが、どのような建物ですか。

A3:　「緑正館」は、地域交流の場として地域のみなさまに自由にご利用いただくための施設で、福島県の地域木材を活用して、平成26年にオープンしました。ホールは、音響に優れておりコンサートに、展示室では絵画・写真等の展覧会に、カフェテリアでは、食事をしながらの会議等にご利用いただいています。このカフェテリアでは、地産地消の食事会のイベントも開催しています。

新井会長

「お客様のニーズに応え、ありがとうと言われるように。
みんなで富を分かち合う、みんなが潤うにはどうしたらいいかを考えています。」
・・・・と笑顔で話してくださいました。

安藤工場長

岩田課長代理

工場内の様子

緑正館　ホール

トピック

石巻高校（宮城県）の生徒から先輩（故菅原隆拓人事教育局長）に向けた想い

本誌第52号（2021．3）でその訃報をお伝えした菅原前人事教育局長の母校である石巻高校では、２年Ｂ組のホームルームで、故人を偲んで作成された追悼集が取り上げられました。

担任である磯部礼奈先生は、追悼集を通じて故人の生前における活躍を知ったとのことです。

追悼集を読んだ生徒からは、故人の業績や仕事への向き合い方に対し強い関心が示され、自分も国や国民のために人生を歩んでみたいなどといった感想も寄せられました。

石巻高校の後輩らに、防衛省の仕事の意義やおもしろさについて強烈なインパクトを残した故人のご冥福を、改めてお祈りいたします。

２年Ｂ組の生徒たちと担任の磯部礼奈先生（右上）

インフォメーション

周辺財産の個人・企業等に対する
有償使用許可のご案内

三沢・八戸・松島の各飛行場周辺、三沢対地射爆撃場周辺及び王城寺原演習場周辺に「周辺財産」（移転補償跡地）と呼ばれる国有地があります。

当局では、土地の有効活用を図る観点から、周辺財産（移転補償跡地）の行政目的を妨げない範囲で、**個人、企業等に対しても、一定の条件の下、有償での使用許可を行うこととしています。**

○お問い合わせ先
東北防衛局　企画部　施設管理課緑化対策係
電話：022-297-8213

○こちらから関連ページへ
アクセスできます→

編集後記

「寅」の文字は、はじまりを意味し、また、「虎」には魔よけの意味もあるとのこと。

令和４年は、新型コロナウィルスが収束し、穏やかな日々のはじまりになるといいですね。

発行元：防衛省東北防衛局広報委員会
（住所：宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15　電話：022-297-8209　ホームページ：http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/）